

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

令和 2年 7月 10日 (金)
国土交通省 関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所

記者発表資料

絶海の孤島“沖ノ鳥島” 観測拠点施設更新・災害復旧完了！！

関東地方整備局京浜河川事務所では、日本の最南端に位置する排他的経済水域の起点となる国土保全上極めて重要である沖ノ鳥島の保全事業を進めているところです。

この度、日本唯一の熱帯気候である沖ノ鳥島の保全に万全を期すため、老朽化した観測拠点施設の更新及び緊急時のヘリポート及び島の保全対策等の調査を行っている観測所基盤の船着き場の災害復旧を実施し、現地作業が無事完了しました。

今回の施設更新により、沖ノ鳥島の気象海象データを継続・安定して観測することが可能となります。

また、観測所基盤船着き場の復旧により、観測所基盤上にあるヘリポート及び実験施設が安全に活用出来るようになります。

今後も引き続き、沖ノ鳥島の適切な保全に取り組んで参ります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所

副所長 佐藤 務 (さとう つとむ)

海岸課長 山本 啓介 (やまもと けいすけ)

電話 045-503-4000(代) FAX 045-503-4019

沖ノ鳥島の保全事業の現地作業を無事に終わりました！！

- ・日本唯一の熱帯気候である沖ノ鳥島の保全に万全を期すため、老朽化した観測拠点施設の更新及び緊急時のヘリポート及び島の保全対策等の調査を行っている観測所基盤の船着き場の災害復旧を実施し、現地作業が無事完了！
- ・約3ヶ月間に及びテレビ・ラジオも視聴できない船上生活、過酷な環境下での重労働を終え無事に帰港！
- ・観測拠点施設を更新することにより、沖ノ鳥島の気象海象データを継続・安定して観測することが可能となります。また、航路を安全に知らせるための沖ノ鳥島灯台も関係機関と連携し、観測拠点施設に移設しました。
- ・観測所基盤船着き場復旧により、観測所基盤上にあるヘリポート及び実験施設が安全に活用出来るようになります。

概要

沖ノ鳥島は、北緯20度25分、東経136度04分に位置し、東京から約1,700km、小笠原諸島父島からでも約900km離れた我が国最南端の島です。

この島は、東西に約4.5km、南北に約1.7km、周囲11kmの卓礁で、我が国の国土面積(約38万km²)を上回る約40万km²の排他的経済水域を有する国土保全上極めて重要な島ですが、満潮時には北小島、東小島の2つの島が海面上に残るのみとなりました。

昭和62年度から2つの小島が侵食により、水没する恐れがあったため、護岸の設置等の保全工事を実施しました。

平成11年には国土保全上きわめて重要である沖ノ鳥島の保全に万全を期すため、国土交通省(当時建設省)が直接海岸の維持管理を行うことになりました。

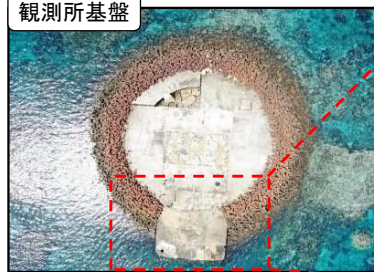
平成22年には「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備等に関する法律」が施行され、平成23年には同法に基づき、「低潮線保全区域」が設定され、沖ノ鳥島の管理がますます重要となりました。

沖ノ鳥島より無事に帰港



過酷な環境下で、重労働を終え無事に帰港！

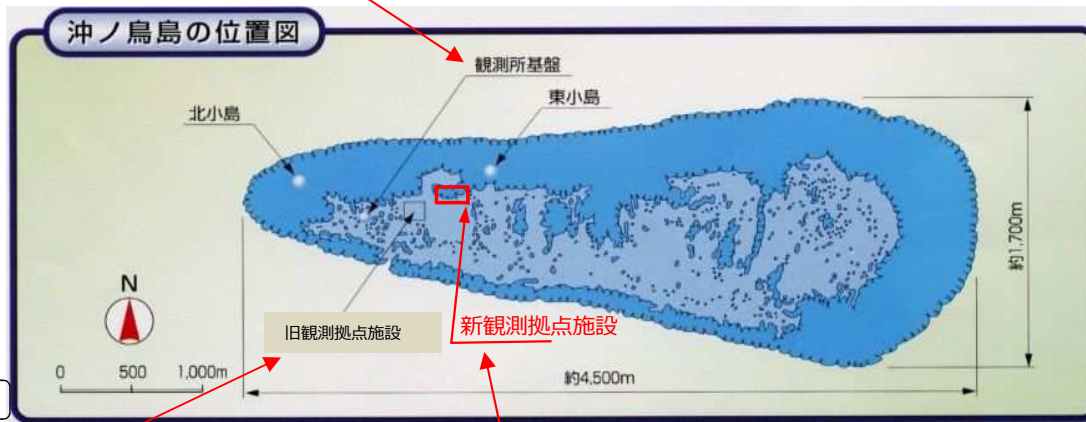
観測所基盤



観測所基盤船着き場の復旧工事が完了し、本来の機能回復！



撤去した旧観測拠点施設を台船に載せ内地まで回航



観測拠点施設更新に伴うその役目を終え、無事に撤去完了！

観測拠点施設を無事に更新し、島の保全事業に万全を期します！

